

<疑ったらどうするか？>

子どもが親から虐待やネグレクトを受けた疑いがあるとき、あなたはどうするべきでしょうか。

1. 親に優しく質問しなさい。どうしてそのケガをしたのか尋ねるのです。親を追求するようなことは避けます。親が答えにくそうにしたり、話の内容を点々と変えるときには、虐待の疑いはますます強くなります。質問によって、虐待の疑いを晴らす話が聞けなければ、それ以上の追求はやめます。親の大変さをねぎらって、必要であれば病院に行くことを薦めます。親が自分が疑われていることに気がつくと、子どもを自宅に連れて帰ってしまったたりして事態への対応が困難になることがあるからです。

2. 親が帰った後に、親の話した事故でこのようなケガが起こるか慎重に考えてみましょう。親の話は信じられますか？子どもの発達年齢と矛盾していませんか？

3. 子どもが話をできる年齢であれば、子どもに慎重に尋ねましょう。子どもが親から虐待を受けたり、ネグレクトされたと話したときには、子どもの言葉を信じなさい。子どもたちは、特に幼い子どもたちは、この種の話で嘘をつくことはめったにありません。

4. 虐待に関して信頼できる専門医がいれば、子どもを診察してもらいましょう。親の許可を得る必要はありません。保健婦さんや看護婦さんにも相談してみましょう。

5. 結論として虐待の疑いが強くなった場合には、児童相談所に通告しましょう。通告は個人でもいいのですが、施設の責任者と相談して行った方がその後の対応がスムーズにいきます。通告するかどうか迷う場合には、保健所や信頼できる専門家に相談するのもいいでしょう。しかし、疑いがある子どもを発見したときには、通告義務があることを忘れないようにして下さい。

～講師紹介～

坂井 聖二

昭和25年 2月 生まれ
昭和52年 3月 東邦大学医学部卒業
昭和54年12月 東邦大学医学部小児科助手
昭和56年 4月 東海大学医学部精神神経科研修員（児童精神医学専攻）
昭和58年 4月 東邦大学医学部第二小児科助手
平成 3年 9月 東邦大学医学部第二小児科講師
平成 5年 3月 東邦大学退職・坂井医院に勤務
平成 5年12月 坂井医院 院長
現 在 坂井医院（小児科・内科）院長
社会福祉法人「子どもの虐待防止センター」理事長

※「子どもの虐待防止センター」には、センターの準備段階から参加し、平成3年センター発足から運営委員になり、平成9年3月社会福祉法人設立より同法人の理事を務め、平成15年3月29日同法人理事長に就任し、現在に至る。

著書等

- 1) 「虐待された子ども ザ・バタード・チャイルド」メアリー・エドナ・ヘルファ編
社会福祉法人子どもの虐待防止センター監修、坂井聖二監訳。明石書店、2003年12月発行
- 2) 「子ども虐待の臨床 医学的診断と対応」編者 坂井聖二、奥山真紀子、井上登生
南山堂、2005年1月発行
- 3) 「子どもを病人にしたてる親たち 代理によるミュンヒハウゼン症候群」
著者 坂井聖二 明石書店 2003年3月発行

参考図書

（日本語で読めるものに限定）

1. 「子ども虐待の臨床」編著：坂井聖二、奥山真紀子、井上登生。南山堂。2004.
2. 「児童虐待イニシャルマネジメント」市川光太郎。南江堂。2005.
3. 「小児虐待：医学的対応マニュアル」編著：桃井真理子。真興交易（株）医書出版部。2006.
4. 小児科臨床. 特集「どう関わるか 子ども虐待」. vol. 60. no. 4. 日本小児医事出版社. 2007.
5. 「虐待された子ども」：坂井聖二監訳。明石書店。2003.
6. 「虐待を受けた子どもの治療戦略」：坂井聖二、西澤哲訳。明石書店。1999.
7. 「看護職のための子どもの虐待予防&ケアハンドブック」：日本看護協会編。
株式会社日本看護協会出版会。2003.

memo

資料 8

第 2 回子どもの心の診療医専門研修会

「第二回子どもの心診療医専門研修会」

テーマ「摂食障害を考える」

主催：子どもの心の診療関連医学会連絡会

開催日時：平成 20 年 1 月 13 日（日） 10 時 00 分～15 時 30 分

開催場所：慈恵医大

参加対象者：下記 6 医学会いずれかの会員である医師 先着 100 名

申し込み方法：iki-n@ncchd.go.jp（国立成育医療センターこころの診療部 壺岐紀子）宛

* 受付次第返信メールを差し上げて参加申し込み完了とします

参加費：6000 円（当日徴収）

プログラム

- | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|
| 10：00～10：45 | 摂食障害総論 | 宮本信也（日本小児心身医学会） |
| 10：45～11：30 | アノレキシアを中心に | 生田憲正（日本思春期青年期精神医学会） |
| 11：30～12：15 | その他プリミアを含めた精神症状を中心に | 宇佐美政英（日本児童青年精神医学会） |
| 13：00～13：45 | 乳幼児期の摂食の問題について | 猪子香代（日本乳幼児医学心理学会） |
| 13：45～14：30 | 摂食障害の鑑別 | 間部裕代（日本小児神経学会） |
| 14：30～15：15 | 児童の摂食障害の非定型の分類について | 北山真次（日本小児精神神経学会） |

資料 9

子どもの心を支える地域ネットワークの集い

子どもの心を支える地域ネットワークの集い

<プログラム>

- 18:55～ 開会の挨拶
- 19:00～ 講演 「大人の発達障害を診るポイント」
市川宏伸先生(梅ヶ丘病院院長)
- 19:45～ レクチャー「子どもの心を診るポイント」
大瀧和男先生(かずおメンタルクリニック)
- 20:30～ 施設紹介と交流
- 東京都中部総合精神保健福祉センター相談係 相談係長 高田真規子
- 東京都発達障害者支援センター 主任支援員 石橋悦子
- 東京都児童相談センター 相談処遇課長 福山 雅史
- 東京都福祉保健局少子社会対策部事業 調整担当副参事 松原 かおり

主催 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」(主任研究者 柳澤正義)
分担研究「子どもの心の診療ができる一般精神科医の育成に関する研究」
(分担研究者 穂積登)

社団法人日本精神神経科診療所協会
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

日時 平成19年9月6日(木曜日) 18:55～21:00
場所 京王プラザホテル4F「花」

連絡先 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 事務局
〒151-0053 渋谷区代々木1-55-14
セントヒルズ代々木403号
Tel: 03-5333-6446
Fax: 03-5333-6445
E-mail: office@npo-jam.org



<講師略歴>

市川宏伸 (東京都立梅ヶ丘病院 院長)

昭和54年 北海道大学医学部卒業
東京医科歯科大学医学部付属病院研修医
昭和57年 東京都立梅ヶ丘病院医員
平成 2年 東京都東村山福祉園医務科長
平成4年 東京都立梅ヶ丘病院医長
平成9年 同病院 部長
平成10年 同病院 副院長
平成15年 同病院 院長

学位ほか

医学博士(東京医科歯科大学), 薬学修士(東京大学), 東京医科歯科大学医学部非常勤講師・臨床教授, 東邦大学医学部客員教授, 日本児童青年精神医学会理事長, 日本自閉症協会理事, JDD ネット理事, 自閉症スペクトラム学会理事, 日本司法精神医学会理事, 東京都精神医学研究所客員研究員

著書など:

子どもの表情・しぐさ・行動がちよっと変だなと思ったとき読む本(主婦と生活社 2007)
AD/HDのすべてがわかる本 監修(講談社、2006)
ケースで学ぶ 子どものための精神看護 編集(医学書院、2005)
知りたいことがなんでもわかる 子どものこころのケア 共編(永井書店、2004)
広汎性発達障害の子どもと医療(かもがわ出版、2004)
子どもの心の病気がわかる本 監修(講談社、2004)
臨床家が知っておきたい「子どもの精神科」 共編(医学書院、2002)
思春期のこころの病気(主婦の友社、2002)
注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック(アリソン・マンデン他著)共監訳
(東京書籍、2000)
自閉症治療スペクトラム 共編(金剛出版、1996)

大瀧和男 (かずおメンタルクリニック 院長)

昭和58年 北海道大学医学部卒業
静岡済生会病院研修医
昭和60年 浜松医大精神神経科助手
昭和62年 国立小諸療養所勤務
平成元年 島田市民病院精神神経科医員
平成2年 医療法人和合会和合病院副院長
平成5年 医療法人義興会可知病院・児童精神科部長を経て副院長
平成15年 豊橋市西幸町にて
心療内科・神経科かずおメンタルクリニック開業

専門 : 児童青年期精神医学、絵画療法

著書など:

「子どもの臨床面接」訳書(フィリップ・バーカー著 金剛出版)
「精神看護エクスペール(15) 思春期・青年期の精神看護」共著(中山書店)

子どもの心を支える地域ネットワークの集い

<プログラム>

- 18:55～ 開会の挨拶 穂積登先生(ほづみクリニック院長)
- 19:00～ 講演 「大人の発達障害を診るポイント」
市川宏伸先生(梅ヶ丘病院院長)
- 19:45～ レクチャー「子どもの心を診るポイント」
大高一則先生(大高クリニック院長)
- 20:30～ 施設紹介と交流
- 埼玉県立小児医療センター 医長 星野崇啓先生
- 埼玉県立精神医療センター 医長 朝倉新先生
- 埼玉県立中央児童相談所 担当課長 古田洋子先生
- 閉会の挨拶 恵智彦先生(イサオクリニック院長)

主催 平成19年度厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」(主任研究者 柳澤正義)
分担研究「子どもの心の診療ができる一般精神科医の育成に関する研究」
(分担研究者 穂積登)

埼玉精神神経科診療所協会
社団法人日本精神神経科診療所協会
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

日時 平成19年11月15日(木曜日) 18:55～21:15
場所 大宮ソニックシティ9F 研修室906

連絡先 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 事務局
〒151-0053 渋谷区代々木1-55-14
セントヒルズ代々木403号
Tel: 03-5333-6446
Fax: 03-5333-6445
E-mail: office@npo-jam.org



<講師略歴>

市川宏伸 (東京都立梅ヶ丘病院 院長)

昭和54年 北海道大学医学部卒業
東京医科歯科大学医学部附属病院研修医
昭和57年 東京都立梅ヶ丘病院医員
平成2年 東京都東村山福祉園医務科長
平成4年 東京都立梅ヶ丘病院医長
平成9年 同病院 部長
平成10年 同病院 副院長
平成15年 同病院 院長

学位ほか

医学博士(東京医科歯科大学), 薬学修士(東京大学), 東京医科歯科大学医学部非常勤講師・臨床教授, 東邦大学医学部客員教授, 日本児童青年精神医学会理事長, 日本自閉症協会理事, JDD ネット理事, 自閉症スペクトラム学会理事, 日本司法精神医学会理事, 東京都精神医学研究所客員研究員

著書など:

子どもの表情・しぐさ・行動がちよっと変だなと思ったとき読む本(主婦と生活社 2007)
AD/HDのすべてがわかる本 監修(講談社、2006)
ケースで学ぶ 子どものための精神看護 編集(医学書院、2005)
知りたいことがなんでもわかる 子どものこころのケア 共編(永井書店、2004)
広汎性発達障害の子どもと医療(かもがわ出版、2004)
子どもの心の病気がわかる本 監修(講談社、2004)
臨床家が知っておきたい「子どもの精神科」共編(医学書院、2002)
思春期のこころの病気(主婦の友社、2002)
注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック(アリソン・マンデン他著)共監訳
(東京書籍、2000)

大高一則 (大高クリニック 院長)

昭和55年 秋田大学医学部卒業
昭和57年 名古屋大学医学部精神医学教室入局
昭和59年 愛知県立城山病院第四診療科 医長
平成4年 名古屋第二赤十字病院精神心療科 副部長
平成6年～ 大高クリニックにて、登校拒否などの青年期の患者を中心に診療

専門 : 児童・青年精神医学(日本児童青年精神医学会認定医)

現在、愛知県医師会学校保健部会幹事、愛知県教育委員会家庭教育企画委員、名古屋市立南養護学校学校医、桜花学園高等学校精神科嘱託医、名古屋大谷高等学校精神科嘱託医、青年期精神療法学会理事、日本精神科診療所協会児童青少年問題委員

著書など:

登校拒否 (児童青年精神科 金剛出版、1989)
青年期の登校拒否 (青年期の病理と治療 金剛出版、1992)
学童期と思春期の登校拒否・登校拒否の経過 (医師のための登校拒否 119 番
ヒューマンティ・ワン、1990)
子どもの生活と環境 (保育看護福祉プリマーズ 精神保健 ミネルヴァ書房、2001)
登校拒否 (今日の児童精神科治療 金剛出版、1996)

子どもの心を支える地域ネットワークの集い

<プログラム>

- 17:50～ 開会の挨拶 穂積登先生(ほづみクリニック院長)
- 18:00～ 講演 「大人の発達障害を診るポイント」
市川宏伸先生(梅ヶ丘病院院長)
- 19:00～ レクチャー「子どもの心を診るポイント」
大高一則先生(大高クリニック院長)
- 19:45～ 施設紹介と交流
- 彦根・子ども家庭相談センター 児童心理司 早川周作先生
- 滋賀県心の教育相談センター 次長 河合弘之先生
- 滋賀県総合教育センター 研修指導主事 安田美幸先生
- 滋賀県立小児保健医療センター 療育部長 宮嶋智子先生
- 滋賀県発達障害者支援センターいぶき センター長 井深允子先生
- 閉会の挨拶 上ノ山一寛先生(南彦根クリニック院長)

主催 平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金 子ども家庭総合研究事業
「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究」(主任研究者 柳澤正義)
分担研究「子どもの心の診療ができる一般精神科医の育成に関する研究」
(分担研究者 穂積登)

滋賀県精神神経科診療所協会
社団法人日本精神神経科診療所協会
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

日時 平成 20 年 1 月 12 日(土曜日) 17:50～20:30
場所 草津市民交流プラザ 大会議室

連絡先 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 事務局
〒151-0053 渋谷区代々木 1-55-14
セントヒルズ代々木 403 号
Tel : 03-5333-6446
Fax : 03-5333-6445
E-mail : office@npo-jam.org



<講師略歴>

市川宏伸 (東京都立梅ヶ丘病院 院長)

昭和54年 北海道大学医学部卒業
東京医科歯科大学医学部附属病院研修医
昭和57年 東京都立梅ヶ丘病院医員
平成2年 東京都東村山福祉園医務科長
平成4年 東京都立梅ヶ丘病院医長
平成9年 同病院 部長
平成10年 同病院 副院長
平成15年 同病院 院長

学位ほか

医学博士(東京医科歯科大学), 薬学修士(東京大学), 東京医科歯科大学医学部非常勤講師・臨床教授, 東邦大学医学部客員教授, 日本児童青年精神医学会理事長, 日本自閉症協会理事, JDD ネット理事, 自閉症スペクトラム学会理事, 日本司法精神医学会理事, 東京都精神医学研究所客員研究員

著書など:

子どもの表情・しぐさ・行動がちよっと変だなと思ったとき読む本(主婦と生活社 2007)
AD/HDのすべてがわかる本 監修(講談社、2006)
ケースで学ぶ 子どものための精神看護 編集(医学書院、2005)
知りたいことがなんでもわかる 子どものこころのケア 共編(永井書店、2004)
広汎性発達障害の子どもと医療(かもがわ出版、2004)
子どもの心の病気がわかる本 監修(講談社、2004)
臨床家が知っておきたい「子どもの精神科」 共編(医学書院、2002)
思春期のこころの病気(主婦の友社、2002)
注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック(アリソン・マンデン他著)共監訳
(東京書籍、2000)

大高一則 (大高クリニック 院長)

昭和55年 秋田大学医学部卒業
昭和57年 名古屋大学医学部精神医学教室入局
昭和59年 愛知県立城山病院第四診療科 医長
平成4年 名古屋第二赤十字病院精神心療科 副部長
平成6年～ 大高クリニックにて、登校拒否などの青年期の患者を中心に診療

専門 : 児童・青年精神医学(日本児童青年精神医学会認定医)

現在、愛知県医師会学校保健部会幹事、愛知県教育委員会家庭教育企画委員、名古屋市立南養護学校学校医、桜花学園高等学校精神科嘱託医、名古屋大谷高等学校精神科嘱託医、青年期精神療法学会理事、日本精神科診療所協会児童青少年問題委員

著書など:

登校拒否 (児童青年精神科 金剛出版、1989)
青年期の登校拒否 (青年期の病理と治療 金剛出版、1992)
学童期と思春期の登校拒否・登校拒否の経過 (医師のための登校拒否 119 番
ヒューマンティ・ワン、1990)
子どもの生活と環境 (保育看護福祉プリマーズ 精神保健 ミネルヴァ書房、2001)
登校拒否 (今日の児童精神科治療 金剛出版、1996)

資料10

テキスト「一般小児科医に望まれる子どもの心の診療」

一般小児科医に望まれる 子どもの心の診療

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）」

一般小児科医に望まれる子どもの心の診療

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者 柳澤正義）」

はじめに

近年、さまざまな「子どもの心の問題」が社会の注目を集めており、また、子どもの虐待の増加は深刻な状態となっています。平成16年には発達障害者支援法が制定され、発達障害への医学的対応の充実も求められています。その一方、子どもの心の診療に専門的に対応できる医師や医療機関は限られており、その確保・養成が急務となっています。

このような状況を背景に、平成17年3月、厚生労働省雇用均等・児童家庭局に「子どもの心の診療医の養成に関する検討会」が設置されました。本検討会では、子どもの心の問題の診療に携わる小児科医及び精神科医を、その診療内容等に関わらず「子どもの心の診療医」という通称で表現し、①一般の小児科医・精神科医、②子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医、③子どもの心の診療に専門的に携わる医師、の三類型に分類し、子どもの心の診療医の養成のあり方について検討が行われました。そして、平成19年3月に取りまとめられた報告書を踏まえ、一般の小児科医、一般の精神科医、子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医、を対象とした3種類のテキストを作成することとなりました。

本テキストは、上記検討会の報告書において作成することとされた、一般の小児科医を対象とするテキストであり、一般小児科医に望まれる「子どもの心の問題」に関する診療範囲と、日常の診療の中でみられる訴え・症候から、どのような問題・疾患を考え、どのように対応するべきかを簡潔に整理しています。本テキストが、小児科の先生方の自己学習や研修会などで広く活用され、お役に立つことができると考えております。

なお、本テキストは、平成18年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）「子どもの心の診療に携わる専門的人材の育成に関する研究（主任研究者：柳澤正義）」において、柳澤正義、別所文雄、保科清、宮本信也の4名で企画・編集を担当し、30名の先生方に分担執筆していただきました。本テキスト作成にあたってご協力をいただいた方々に、感謝の意を表させていただきます。

平成19年9月

日本子ども家庭総合研究所長
柳澤 正義

編集

柳澤正義	日本子ども家庭総合研究所
別所文雄	杏林大学医学部小児科
保科 清	医療法人財団順和会山王病院
宮本信也	筑波大学大学院人間総合科学研究科

執筆者一覧（執筆順）

宮本信也	筑波大学大学院人間総合科学研究科
秋山千枝子	あきやま子どもクリニック
武居正郎	武居小児科医院
川上一恵	かずえキッズクリニック
今 公弥	五十嵐小児科
内海裕美	吉村小児科
平岩幹男	戸田市立医療保健センター
田中英高	大阪医科大学小児科
竹中義人	大阪労災病院小児科
石崎優子	関西医科大学小児科
井上登生	井上小児科医院
金生由紀子	東京大学こころの発達診療部
北山真次	神戸大学小児科
深井善光	清瀬小児病院
岡田由香	神戸大学発達科学部
稲垣由子	甲南女子大学人間科学部
村上佳津美	近畿大学小児科
小枝達也	鳥取大学地域学部地域教育学科
柳川敏彦	和歌山県立医科大学保健看護学部
井口敏之	星ヶ丘マタニティ病院
笠原麻里	国立成育医療センターこころの診療部
市川宏伸	都立梅ヶ丘病院
早乙女智子	神奈川県立汐見台病院産科
宮尾益知	国立成育医療センターこころの診療部
古荘純一	青山学院大学
長尾圭造	国立榊原病院
赤坂 徹	社会福祉法人岩手愛児会子育て医療支援センター
小林繁一	静岡県立こども病院
細谷亮太	聖路加国際病院
生田憲正	国立成育医療センターこころの診療部

目 次

I. 一般小児科医に望まれる子どもの心の診療	1
1. 望まれる範囲	1
1) 判断と対応ができることが望ましい診療範囲	
2) 判断と初期対応ができることが望ましい診療範囲	
3) 判断と適切な紹介ができることが望ましい診療範囲	
2. 日常臨床における留意点	2
3. 訴え・所見から考えられる心の問題	3
II. 判断・対応ができることが望まれるもの	8
1. 睡眠障害	8
1) 夜泣き	
2) 夜驚症	
2. 排泄障害	10
1) 夜尿	
2) 昼間遺尿	
3) 遺糞	
3. 乳幼児の食行動の問題	14
1) 少食	
2) 過食	
3) 食事を嫌がる	
4. 心身症	17
1) 反復性腹痛	
2) 周期性嘔吐	
3) 慢性頭痛	
4) 特発性胸痛	
5) 四肢痛	
6) 単純性肥満	
5. 習癖 (指しゃぶり・爪かみ・性器いじり)	25
6. 育児上の問題	27
1) テレビ・ビデオ	
2) きょうだいけんか (同胞葛藤)	
3) 反抗 (幼児期)	
4) 分離不安	
7. 性に関する問題	31
1) ポルノ・下着への関心	
2) 自慰	
3) 性体験	

Ⅲ. 判断と初期対応ができることが望まれるもの	35
1. 心身症	35
1) 起立性調節障害	
2) 過敏性腸症候群	
3) 過換気症候群	
4) 起立歩行障害 (失立・失歩)	
5) 非器質性視力障害	
2. チック障害	44
3. 食行動の問題	46
1) 異食	
2) 意図的嘔吐 (反芻)	
4. 行動問題	49
1) 選択的緘黙	
2) 登園しぶり (保育所・幼稚園)	
3) 抜毛 (円形脱毛を含む)	
5. 不登校	54
6. 発達障害	57
1) 発達障害の評価	
2) 知的障害 (精神遅滞)	
3) 自閉性障害	
4) 注意欠陥/多動性障害	
5) 発達性協調運動障害	
6) 学習障害	
7. 不適切な養育 (子ども虐待)	65
Ⅳ. 判断と適切な紹介ができることが望まれるもの	69
1. 摂食障害	69
1) 神経性無食欲症 (拒食症)	
2) 神経性大食症 (過食症)	
2. 神経症性障害	72
1) 転換性障害 (ヒステリー)	
2) 不安障害・パニック障害	
3) 強迫性障害	
3. 気分障害	77
1) 子どものうつ状態の特徴	
2) うつ状態を疑った時の初期対応	
4. 統合失調症	79
1) 子どもの統合失調症の特徴	

2) 統合失調症を疑った時の初期対応	
5. 性に関する問題	81
1) 妊娠	
2) 性感染症	
3) 性非行・援助交際	
V. 子どもの心の診療の基本事項	84
1. 発達	84
1) 運動発達	
2) 言語発達	
3) 社会性の発達	
4) 愛着の発達	
5) 発達課題とその帰結 (EH Erikson)	
2. 知っておくべき対応法の基本	88
1) 行動問題への対応の基本 (行動変容技法)	
2) 保護者への助言の基本	
3) 向精神薬療法の基本	
3. 子どもの心の診療と関連する諸事項についての基本的知識	93
1) 診療経費	
2) 児童福祉	
3) 特別支援教育	
4) 児童福祉以外の関連法律	
5) 矯正・司法	
VI. その他の関連事項	98
1. 慢性身体疾患のある子ども	98
1) 慢性疾患の心理的影響	
2) 慢性疾患の治療教育	
2. 痛み	101
3. 臨死状態 (亡くなる子ども達とその家族)	102
4. 思春期	105
1) 思春期における心理社会的問題へのアプローチ	
2) 行為障害	